

CLAASは自走式ハーベスターJAGUARの半世紀を祝います。

「アンストッパブル」

CLAAS JAGUAR自走式ハーベスター50年の歴史

Harsewinkel、2023年11月。1973年、CLAASはJAGUAR 60 SFで自走式ハーベスターのサクセスストーリーの最初の1ページを刻みました。多くの革新と効率的で堅牢な技術のおかげで、JAGUARは非常に早い時期に世界的な評価だけでなく、世界ナンバーワンの地位を獲得しました。今日では、独自の穀物処理技術と細断品質だけでなく、全体的なコスト低減のため、世界中の農業従事者の皆様やコントラクターを魅了しています。

現在自走式ハーベスターは、トラクターやコンバインと並んで、多くの農業従事者の皆様やコントラクターだけでなく、農業部門全体で重要な機械の一つとなっており、高品質のサイレージ、酪農生産、雄牛肥育、バイオマス収穫、最適な細断長と優れた穀物処理、高い生産性と最大の汎用性を確保します。自走式ハーベスターの世界的リーダーであるCLAAS JAGUARは、今年で半世紀を迎え、45,000台以上が製造されました。「JAGUARは50年間、イノベーション、効率性、生産性、信頼性の代名詞となってきました。サイレージ業界にこれほどのインパクトを与えたモデルは、この50年間で他にありません」と、自走式ハーベスター部門の副社長ドミニク・グロテ氏は説明します。

「CLAASは、技術の進歩、技術者やお客様からのフィードバックに加えて、ディーラーやアフターサービスパートナーのおかげで、世界市場をリードしています。投資金額を回収するためには、信頼性の高い機械、スペアパーツの迅速な入手、効率的で専門的なアフターサービスが不可欠であり、特に農業企業にとっては、これらが主要機械選定の決定的な基準となります。」



1973-2023: CLAAS JAGUARの歴史50年以上の間に、45,000台以上のJAGUAR自走式ハーベスターがHarsewinkel工場で製造されました。

総合的なコスト低減と製品市場価値のマーケットリーダー

JAGUARは、技術革新と優れた性能だけでなく、耐摩耗加工のハイエンド部品、CLAASディーラーの優れたアフターサービス、スペアパーツの迅速な供給のおかげで、自走式ハーベスターの世界的リーダーであり続けています。また世界をリードするシェアであることは、新品および中古の機械を利用するお客様にとって大きな利点です。世界的なCLAAS流通ネットワークの中で、中古のJAGUARは国境を越えて、海を越えて、タイのススキやサトウキビ収穫、フランス南部のラベンダー収穫のために稼働しています。したがって、他社製の自走式ハーベスターはJAGUARほど長く使用されない一方で、中古のJAGUARが新しい所有者に見つけられるのに時間は長くかかりません。

コンバイン技術も導入

1970年代からのトウモロコシ栽培の増加とけん引式機械から自走式機械の台頭に伴い、自走式ハーベスターの開発も北米やヨーロッパで活発になりました。二つのディーラーが最初のプロトタイプを製作した後、1973年にJAGUAR 60 SFでCLAASはこの有望な市場に参入しました。けん引式ハーベスターJAGUAR 60と当時のコンバインの要素を取り入れたこの120hpモデルは、初年度に33台販売、1976年に生産が終了するまで500台以上生産されます。

その後すぐ、特にコントラクター用のよりパワフルな機械の需要に繋がりました。その声に応えるべく1975年に、CLAAS Bad Saulgau 工場にてJAGUAR 80 SFを開発。新モデルには213hp、3〜4条刈りヘッダー、排出ブローワーとCLAAS自動ステアリングシステムが採用されました。またフィーダーハウジングと細断シリンダーハウジングを分割できるようになり、メンテナンスもより容易になりました。同時期にJAGUAR 60 SFの後継として、CLAASは、はるかに広い細断シリンダーと150hpおよび175hpのエンジンを採用したJAGUAR 70 SFを並行して開発し、1976/1977シーズンに向けて販売、デントコーン収穫能力最大75トン/時間を可能にしました。

世界一のマーケットリーダーへ

JAGUAR 60 SFの発売から10年後の1983年、技術的に大きな一歩が踏み出されました。新しいJAGUAR 600シリーズは、パワーと細断品質の面だけでなく、デザインの面でも革命的でした。主な新装備は、金属探知機、コーンクラッカーとクロープアクセラレーターです。超近代的なメルセデス・ベンツのエンジンは、高トルクと低燃費を実現。DOMINATORコンバインを継承し、採用された新しいキャビンは、人間工学に沿った設計と遮音性で優れていました。新しいコントロールレバーは、複雑な操作なしにいくつかの機能を右手で制御することができました。最大300hpのエンジンは、6条刈りのコーンヘッダー使用可能、生産性を最適化するに至りました。V字に並んで配置されたナイフを細断シリンダーに採用することにより、ホールクロープサイレージやコーンコブサイレージにも対応しました。1988年、CLAASは更なるアップグレードを新キャビンに採用します。354hpのJAGUAR 695 MEGAは、この成功したシリーズの新しいフラッグシップモデルとして登場します。

1994年は重要なターニングポイントとなりました。CLAASの新しいJAGUAR 800シリーズは、パフォーマンスの限界を押し広げ、技術的リーダーとしての地位を確立しました。JAGUAR 600でヨーロッパ市場をリードしたCLAASは、自走式ハーベスターの世界的リーダーとなります。JAGUAR 880は、世界で最もパワフルな481hpの自走式ハーベスターでした。これにより初めて8条刈りのコーンヘッダーを使用できるようになります。翌年、初めてのCLAAS全面刈りコーンヘッダーとして、作業

幅4.50 mのRU450が製品レンジに加えられます。エンジンはリヤアクスルの後ろで進行方向に対して垂直に取り付けられ、パワーバンドベルトを介して細断シリンダーに直接駆動を伝達するようになります。また幅広のフロントアタッチメントに対するカウンターウェイトとしても機能します。コーンから牧草への仕様変更時、コーンクラッカーを簡単かつ迅速に引き出して変更できます。パワフルなクロープアクセラレーターは、トラックやトレーラーへの飼料の正確な充填を保証します。湾曲したフロントガラスと助手席を備えた新しいキャビンは、パノラマの視認性と快適さの点で特に革新的です。1997年には、少量生産ですが、フィールドシャトルモデルが製造されました。

2001年には、JAGUAR 900が初めて600hpの大台を突破しました。デジタルターミナルと現代的な多機能レバーを備えた新しいキャビンは、再び競合他社をリードします。更に2003年、JAGUAR SPEEDSTARは初の40km/h認定（欧米圏）自走式ハーベスターでもありました。最大出力も623hpにアップしています。

効率化のためのインテリジェンス

2008年は大きな進歩です。新しいJAGUAR 900シリーズは、ツインエンジンのJAGUAR 980で最大830hpを発揮し、性能の限界を再び押し上げます。新しいV-MAX細断シリンダーとその特徴あるナイフ形状は、最適な細断品質、最高のパフォーマンス、優れたメンテナンス性を保証します。新世代のキャビンは、ドライバーの快適性を向上させ、オプションのAUTO FILL - 輸送トレーラー用自動充填システムも同様です。JAGUAR 900シリーズは、インテリジェントなDYNAMIC POWER - エンジンパワーマネジメントオプションで、作業負荷に合わせて最適なエンジンパワーカーブを選択し、最大10%の燃料節約を実現するアプリケーションも備えています。2012年から採用されたオプション機能としてNIRセンサーによる様々な種類の作物の乾物含有量と成分の継続的な測定が可能になり、例えば収穫物の栄養価測定など、収穫圃場内の水分と成分状況を確認することができます。また工場出荷オプションのタイヤプレッシャー制御、特にフロントとリヤ両方のタイヤ圧を変更できる機能は、

自走式ハーベスター市場で特徴的であり、圃場踏圧の抑制と走行の快適性を維持します。2014年の新しいJAGUAR 800シリーズにも、これらの機能の多くが採用されています。

2015年、CLAASは米国生まれのデントコーン処理技術「SHREDLAGE®」取得を発表しました。SHREDLAGE® MULTI CROP CRACKER (MCC) は、JAGUARコーンクラッカーシステムに汎用性と高性能さを補完します。2017年には、JAGUAR 900のクロップフローとシャーシ設計が最適化されて、2019年には、新世代のORBISコーンヘッダーが誕生しました。その2年後、JAGUAR 900にCEMOS自動機能が登場、Harsewinkelで製造された自走式ハーベスターの性能と効率を向上させます。同年、TERRA TRACクローラーバージョンのJAGUAR 960とJAGUAR 990が、新たにCLAASレンジに追加されます。この特徴的枕地保護システムはコーン畑、草地両方で使用でき、低い踏圧で土壌を保護するだけでなくフロントアタッチメント操縦性能の新しいスタンダードを確立します。

アグリテクニカで50周年記念特別仕様車公開

CLAASはJAGUARの50周年を記念して、世界最大の農業機械展アグリテクニカ2023で特別仕様車を発表します。これには、JAGUARのシルエットが描かれたステッカー、オペレーターパックが含まれます。JAGUAR 990 TERRA TRACは、アグリテクニカのCLAASスタンド (ホール13) で、特別な塗装を施した特別限定版として発表されます。その後、2024年シーズンのデモンストレーションや、一部のディーラーで開催されるJAGUARイベントで鑑賞することができます。



特別塗装を施した限定版は、「JAGUAR 990 TERRA TRAC」としてアグリテクニカホール13のCLAASスタンドで公開されます。

CLAAS JAGUAR 進化の歴史

- 1973: JAGUAR 60 SF の発売。
- 1975: Bad Saulgau で開発された V10 ディーゼルエンジン搭載の JAGUAR 80 SF は、213hp を実現し、パフォーマンスの限界を押し広げます。
- 1977: CLAAS は、JAGUAR 60 SF の後継となる JAGUAR 70 SF を発表します。
- 1983: 新世代の JAGUAR 600 は、自走式ハーベスターに革命を起こします。
- 1989: JAGUAR 600 S/SL/MEGA は、新しいキャビン、最大 354hp、全体的な性能向上を装備。

- 1994: JAGUAR 800 は、垂直搭載エンジン、最大 481hp、初の 8 条刈りコーンヘッダーを装備可能。同年、10,000 機目の JAGUAR が工場出荷されました。現在、JAGUAR の重要な記念日はすべて特別版で祝われています。
- 1997: JAGUAR FIELD SHUTTLE は、自走式ハーベスターと排出トレーラーコンビネーションモデルです。
- 1998: CLAAS は 15,000 台目を記念して、エアブラシアートワークを施した特別仕様 JAGUAR を作りました。
- 2001: モデルチェンジに伴い、605hp の JAGUAR 900 が新フラッグシップモデルになりました。
- 2003: 40 km/h 走行を承認された（欧米）JAGUAR SPEEDSTAR バージョン発表。
- 2004: CLAAS が 20,000 台目の JAGUAR を製造。
- 2006: 最大 623hp の JAGUAR 900 GREEN EYE を発表。
- 2008: DYNAMIC POWER と多くのオートマチックシステムを搭載した新しい JAGUAR 900 シリーズ。
- 2009: 25,000 台目の JAGUAR は、ツインエンジンを搭載し、830hp のパワーを持つ JAGUAR 980 です。
- 2011: CLAAS は、30,000 台目の特別ブラック仕様 JAGUAR を製造しました。
- 2012: NIR センサーにより、収穫物の乾物量と成分(粗灰分、粗たんぱく、粗糖分類)を測定可能に。
- 2014: 快適性、効率、性能を向上させた JAGUAR 800 シリーズのアップデート。
- 2017: 新世代の JAGUAR 900 は、可変フロントアタッチメントドライブと新しいシャーシコンセプトを提供。
- 2019: CLAAS は、特徴的枕地保護システムを備えた JAGUAR 900 TERRA TRAC を販売開始、並行して CEMOS AUTO PERFORMANCE を導入。

- 2019: 40,000 台目の JAGUAR 自走式ハーベスターが Harsewinkel 工場から出荷。
- 2020: 作業幅が最大 9 メートル、輸送幅がわずか 3 メートルの新しい ORBIS コーンヘッダー。
トランスポートプロテクションも装備され、走行中の安全性確保とセットアップ時間も縮小。
- 2022: JAGUAR での自動操舵と精密農業のための新しい GPS PILOT CEMIS 1200 発表。

高解像度の写真はこちら：

<https://dam.claas.com/pinaccess/showpin.do?pinCode=PhD5Sz3qME1C>

報道関係者各位：

このプレスリリースは国際的なものです。製品や設備の範囲は国によって異なる場合があります。

詳細については、最寄りの CLAAS の代理店または輸入業者にお問い合わせください。

claas-group.com のプレスフォトアーカイブ

ウェブサイトでプレスフォトをチェックしてください。プレス記事用の無料写真をご用意しています。www.claas-group.com > Press / Corporate Communications > Picture Archive

CLAAS について

CLAAS は 1913 年 (www.claas-group.com) に設立されたドイツのファミリー企業で、本社はウェストファーレン州 Harsewinkel にあります。現在では世界有数の農業機械メーカーとなっています。CLAAS コンバインはヨーロッパ市場のリーダーであり、CLAAS 自走式ハーベスターは世界第 1 位です。同社はまた、トラクター、ベラー、飼料収穫機で世界的に非常に良い場所に位置しています。製品ラインアップには、農業のための最新の IT 技術も含まれています。CLAAS は世界中で 12,100 人以上の従業員を雇用しており、2022 年度の売上高は 49 億ユーロでした。

以上